



大樹のこころ

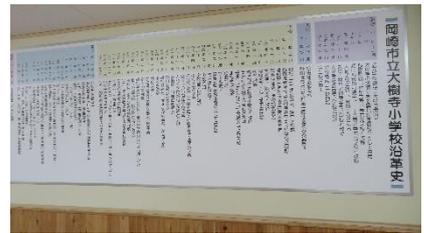
沿革史ボード

昨年度に開校150周年を迎えた大樹寺小。令和5年12月2日に記念式典を開催し、和太鼓部がブコ集団とコラボ演奏をしたり、バルーンリリースを行ったりしました。この式典を区切りに、本校は新たな歴史へと歩み始めました。しかし、正確に言えば記念行事は終わっていませんでした。このような大きな周年行事の際には、記念になるものを残すのが通例です。実はこの記念品が未設置の状態でした。「何をのんびりしたことを」とお叱りを受けそうですが、これには理由があります。

記念式典に向けて準備を進めていく中で、本校の「家康公とのつながり」と「歴史の壮大さ」を強く実感していきました。そこで記念品として「大樹寺小の沿革史ボード」を残すことを考えました。他校では沿革史が校内に掲示されているものですが、歴史ある大樹寺小にはなかったからです。良きアイデアでしたが、一つ問題がありました。それは校舎の改修工事です。150周年記念式典終了後に、本格的な工事が始まりました。工事前に新しい沿革史ボードを設置したとしても、外さなくてはなりません。また改修後に設置予定場所が、どのような状態になっているかもわかりません。そこで沿革史ボードは改修工事後につけることにしました。このような対応について、150周年実行委員会の皆様には説明をし、了承をいただいていた。

改修工事後に設置場所を確認し、本格的に業者に発注していました。そして昨日、お待ちかねの沿革史ボードの設置工事が行われました。掲示場所は中校舎と南校舎をつなぐ1階の渡り廊下です。工事の様子を見守りながら、ワクワクが止まりませんでした。明治・大正・昭和・平成・令和と5つの元号にわたる歴史です。沿革史を見ていると、改めて歴史は受け継がれ、そして作り上げられていくのだと感じました。

この設置工事をもって、150周年記念事業は全て終了しました。大きな責任を果たすことができ、ほっとしています。この沿革史ボードは、今後の歴史を付け足していける作りになっています。加えることができる年数は何と約150年分。これから大樹寺小がどんな歩みをしていくのか、とても楽しみです。保護者の皆様も来校の際には、ぜひご覧ください。



今年最後の樹げ夢（読み聞かせボランティア）



本日、令和6年度ラストとなる樹げ夢が行われました。子供たちは読み聞かせが大好きです。本の世界は物語の楽しさだけでなく、道徳的な価値観も子供たちに教えてくれます。樹げ夢の皆さんは、本校の情操教育に多大な貢献をしてくれています。1年間、ありがとうございました。